2026 年 10 月 22 日

ご契約者様　各位

アンダーデザイン株式会社
ShareLine サポートセンター

【重要】共用サーバサービス　PHP の重大な脆弱性「php2shell」に伴うサービス提供元の対応について

平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

共用サーバサービスにおきまして、プログラミング言語「PHP」においてセキュリティ上の深刻な脆弱性が確認されたため、サービス提供元より緊急メンテナンスの実施およびお客様へのご対応のお願いについてご連絡がございましたので、以下の通りご報告させて頂きます。

お客様にはお手数・ご不便をおかけいたしますが、内容をご確認のうえ、至急ご対応いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日時

2026 年 10 月 21 日(水) 23:00 ～　継続対応中

2. 対象

共用サーバサービスをご利用のお客様

3. 影響範囲

作業に伴い、サービスへ影響が発生する可能性があります。
今回対象となるのは、すでに開発元による公式サポートが終了（EOL）しているバージョンを含む全バージョンの可能性があり、悪用された場合、深刻な被害につながるおそれがございます。
下記「4. 脆弱性の影響が懸念される PHP バージョン」をご確認いただき、至急ご対応いただけますようお願い申し上げます。

4. 脆弱性の影響が懸念される PHP バージョン

・PHP 5 系
・PHP 7 系
・PHP 8.0 系
・PHP 8.1 系
※現時点で PHP 公式からの具体的な対象バージョンの公表はなく、上記を含むすべてのバージョンが対象となる可能性がございます。

5. 影響内容

サービス提供元にて、2026 年 10 月 21 日 23:00 のパッチ公開に合わせた対応作業を実施中です。
本脆弱性が悪用された場合、特定の条件下において、認証を持たない第三者（攻撃者）によってリモートから任意のコードを実行される（RCE）おそれがあります。これにより、Web サイトの改ざん、サーバー内情報の窃取、不正なプログラム（マルウェアなど）の設置など、深刻な被害につながる危険性があります。

6. お客様へのお願い（推奨対策）

上記の PHP バージョンは開発元（The PHP Group）による公式サポートが終了（EOL）しているため、原則として公式な修正プログラムは提供されません。つきましては、以下の対応を速やかに実施いただきますよう強くお願い申し上げます。

1. サポート対象の新しいバージョンへの移行
   現在公式サポートが継続している最新バージョン（PHP 8.4 など）へ、PHP バージョンの変更を行ってください。
2. 不正アクセスの有無の確認
   バージョン変更に加えて、Web アクセスログの確認や、サーバー上に不審なファイルが作成されていないかのご確認をお願いいたします。

7. PHP バージョン変更の手順

当社が提供する共用サーバサービスでは、コントロールパネルより、PHP のバージョンを変更いただけます。

1. コントロールパネルへログイン
2. 「Web」＞「PHP」メニューへアクセス
3. 該当ドメインの設定にて、新しい PHP バージョン（PHP 8.4 など）を選択し保存

※ご利用のプログラムや WordPress 等の仕様により、バージョン変更後に Web サイトの表示崩れやエラーが発生する可能性がございます。必ず事前に動作確認を行ったうえで切り替えを実施してください。

8. PHP バージョンの強制変更の可能性について

レンタルサーバ保守会社の判断となりますが、本件の脆弱性は深刻なものであることから、PHP 8.4 より前のバージョンをご利用中のお客様について、PHP バージョンを強制的に PHP 8.4 へ変更する対応も視野に入れているとの報告がございました。
この作業が実施された場合、お客様のホームページが閲覧できなくなる可能性がございます。
強制変更が実施される前に、上記「7. PHP バージョン変更の手順」により、動作確認のうえお客様ご自身で PHP バージョンを変更いただきますようお願いいたします。

詳細な対応内容や時間帯、影響範囲は決まり次第、追ってお知らせいたします。
本件に関するお問い合わせは、ShareLine サポートセンターまでご連絡ください。
ご迷惑をおかけいたしまして、誠に申し訳ございません。何卒よろしくお願い申し上げます。

以上